

第8回「防潮堤を勉強する会」要旨

日時：2012年9月11日（火）18時から20時半 場所 気仙沼小学校体育館

テーマ「守るべきもの」に関する意見交換—ワークショップ形式

コーディネータ：菅原昭彦(当初予定していた世古一穂先生に代わって)

ワークショップテーマ①「守るべきもの」は何か？

※大きくグループ分けした人数でまとめたもの。詳細は議事録を参照ください。

- ・砂浜・海岸・海 19件
- ・観光 8件
- ・生態系 6件
- ・コミュニティ 7件
- ・環境 12件
- ・地域伝統文化 7件
- ・気仙沼の漁撈文化 3件
- ・命と環境 4件
- ・人命 8件
- ・気仙沼の水産業 15件
- ・海との居住 5件
- ・海産物の豊かな海 2件
- ・内湾、浮見堂の風景 6件
- ・気仙沼の風景 5件
- ・気仙沼らしい風景 10件
- ・自然に対する敬意 4件
- ・後世への伝承 3件

ワークショップテーマ②「守るべきもの」を守るためにどうしたら良いか？

- ①そのままにしておく。防災体制は整備する。
- ②震災前の状況に復帰する。原型復旧。
- ③L1の津波に対応できる防潮堤を作る。現在の県の案を受け入れる。
- ④L2の津波に対応できるウルトラスーパー堤防を作る。

以上の点以外において考え得る方法を意見交換の中で挙げていただく。

- ・建物、ビル、住宅の高層化 10件
- ・土地利用 9件
- ・セットバック 3件
- ・道路整備 13件
- ・防潮堤 8件
- ・コミュニティ形成 20件
- ・暮らしの改善 4件
- ・資源、自然の活用 11人

まとめ

- テーマ①「守るべきもの」として命という回答はもちろん、それ以外にも景観という項目が多く、特に海に関する景観が多く挙げられた。
- 他にも海に関する生業、生活、文化が中心となって挙げられた。
- テーマ②については、ソフト面において、防災に対して日常からのコミュニティの形成や、後世のための教育などの意見が挙げられた。
- ハード面においては、避難道など既存のものや土地を利用しての防潮堤案が挙げられた。新たな設備として、避難ビルや高さを意識した複合的な建物の建設が挙げられた。

<次回 第9回「防潮堤を勉強する会」> 9月14日（金）18時—20時 すこやかプラザ

●テーマ1：「砂浜地形変化のメカニズムと防潮堤の影響」

講師：東北大学災害科学国際研究所 准教授 有働恵子 氏

●テーマ2：「奥尻島に学ぶ、防潮堤建設の経緯とその後の影響」

講師：北海道大学地震火山研究観測センター 助教授 定池祐季 氏